

2004年第12週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
 － 感染性胃腸炎 －
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)

感染症豆知識

- 高病原性鳥インフルエンザ

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



(全数報告の疾患)

- ・細菌性赤痢が2件報告された。ソネ菌1件(推定感染地:インドネシア)およびフレキシネル菌1件(推定感染地:カンボジア)である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が1件報告された。血清型はO1111(VT1産生株)である。
- ・デング熱が2件報告された。推定感染地はマレーシアとインドネシアである。
- ・レプトスピラ症が1件報告された。推定感染地は国内である。35歳男性で、職業は下水の配管工である。発熱、黄疸、腎不全を認め、ペア血清で4倍以上の上昇を認めている。下水道での作業中の感染が疑われた。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地は国外、不明で、推定感染経路はそれぞれ飲食等による経口感染、不明である。
- ・ウイルス性肝炎が1件報告された。B型で、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・HIV感染症が8件報告された。無症候性キャリア4件、AIDS2件、その他2件で、推定感染経路は異性間性的接触2件、同性間性的接触5件、不明1件である。
- ・ジアルジア症が3件報告された。推定感染地は国内、カタール、アフガニスタンで、推定感染経路は、飲食等による経口感染2件、同性間性的接触1件である。
- ・梅毒が1件報告された。早期顕症梅毒 期1件で、推定感染経路は両性間性的接触である。
- ・破傷風が1件報告された。推定感染地は国内、感染経路は不明である。46歳男性で、開口障害と体肢痙攣を認めている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・インフルエンザは終息した。伝染性紅斑が急増している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎の報告が多い。風しんの動向には注意が必要である。

(検出された病原体)

- ・上気道炎1名の咽頭拭い液からRSウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・急性扁桃炎、流行性角結膜炎、胃腸炎、不明発疹の計4名からアデノウイルスの遺伝子が検出された。胃腸炎の1名からはロタウイルスも検出された。
- ・胃腸炎2名の便からロタウイルスが、他の胃腸炎1名の便からノロウイルスが検出された。
- ・上気道炎1名の咽頭拭い液からEBウイルスの遺伝子が検出された。
- ・ウイルス性発疹症の疑い1名の咽頭拭い液からアデノウイルス3型が分離された。
- ・ウイルス性胃腸炎集団発生5事例の患者検体27件からG型の、2事例の患者検体3件からG型のノロウイルスが検出された。
- ・上気道炎の咽頭拭い液からT-4型の溶血性レンサ球菌が分離された。

- ・保健所等から搬入された血清等37件中15件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・保健所等から搬入された頸管拭い液19件中1件から淋菌遺伝子が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液4件中1件からヒトパピロ - マウイルス遺伝子が検出された。
- ・多摩地域の定点から搬入された感染性胃腸炎1名の便からロタウイルスが検出された。

定点医療機関からのコメント

世田谷

- ・インフルエンザ1名、5歳男児迅速テストA型。
- ・インフルエンザ3名、いずれもA型。予注2回。

練馬区

- ・23歳麻しん男性は、ワクチン接種済みでした。

中野区

- ・感染性胃腸炎はすべてロタウイルス性です。

全数届出患者報告数 2004年 12週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		9週	10週	11週	12週	年累計	12週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							5
	細菌性赤痢	2	5	1	2	22	5	72
	ジフテリア							
	腸チフス			1		1	1	4
	パラチフス					1		3
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	16	10	86
四類	E型肝炎							(4)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				7	(1)	(39)
	エキノкокクス症							9
	黄熱							
	オウム病							6
	回帰熱							
	Q熱							2
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					5	2	47
	デング熱				2	3	2	4
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ポツリヌス症								
マラリア	1	1			5	1	12	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					2	4	24	
レプトスピラ症				1	1			
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	2	4	2	32	7	114
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			3	1	8	2	54
	急性脳炎					1	(2)	(7)
	クリプトスポリジウム症					1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病					2	2	36
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				3	1	13
	後天性免疫不全症候群	15	6	11	8	79	10	190
	ジアルジア症				3	5	2	13
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		2		7
	先天性風しん症候群		1			1		2
	梅毒	1	1		1	14	2	101
	破傷風				1	1	1	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		9

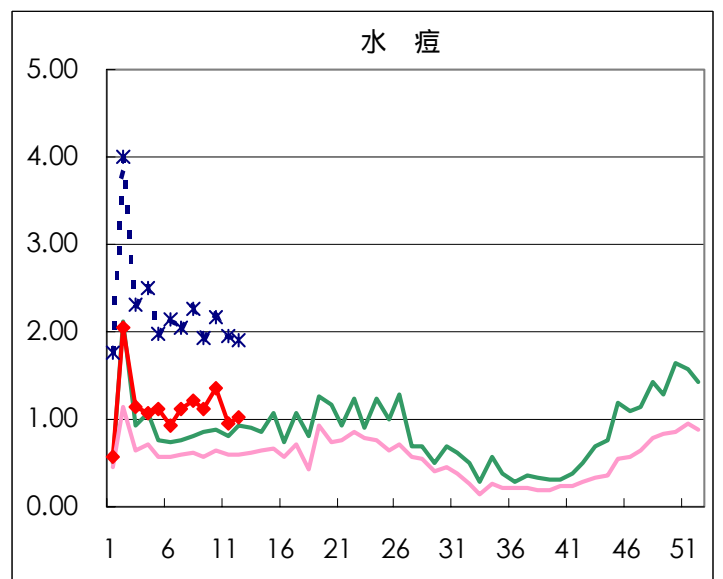
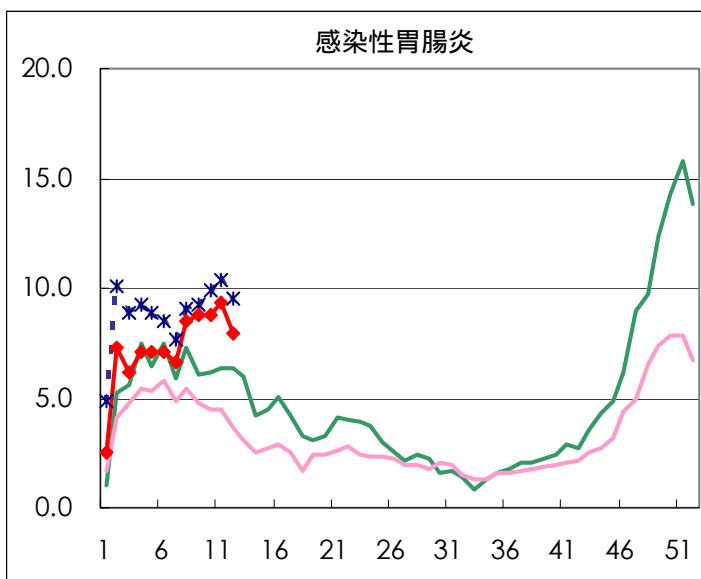
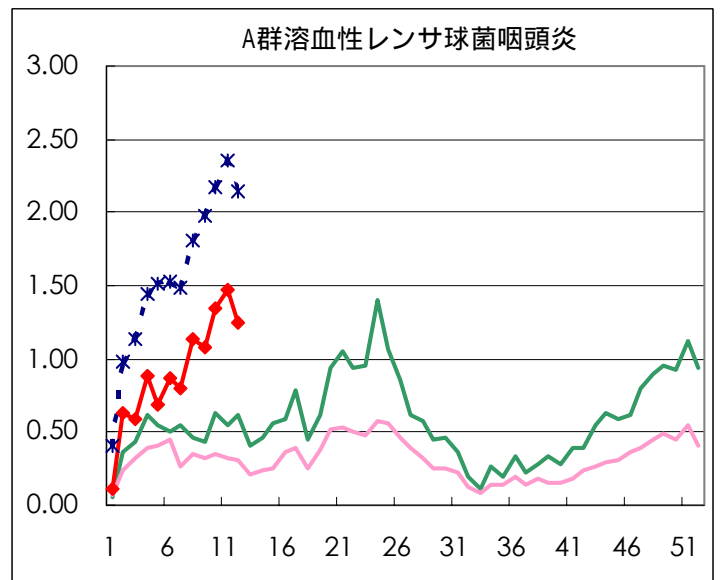
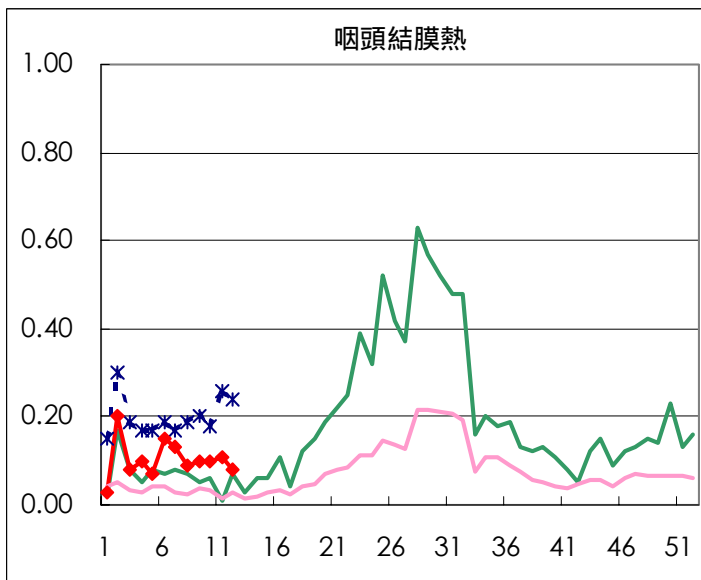
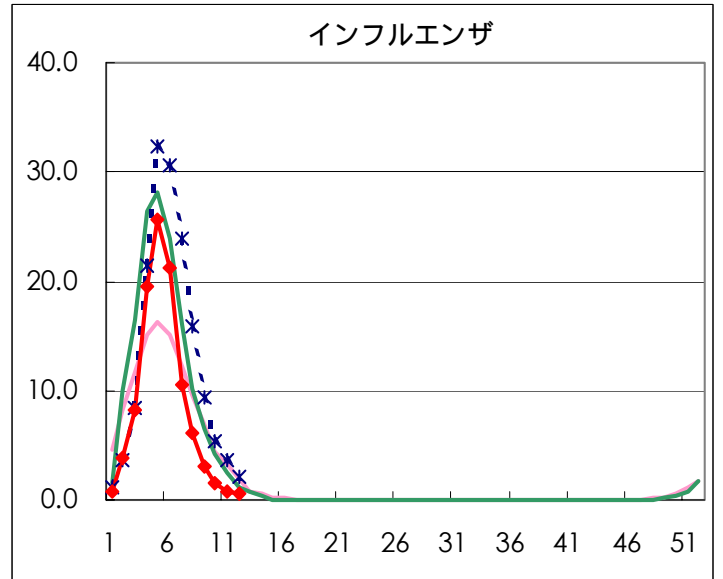
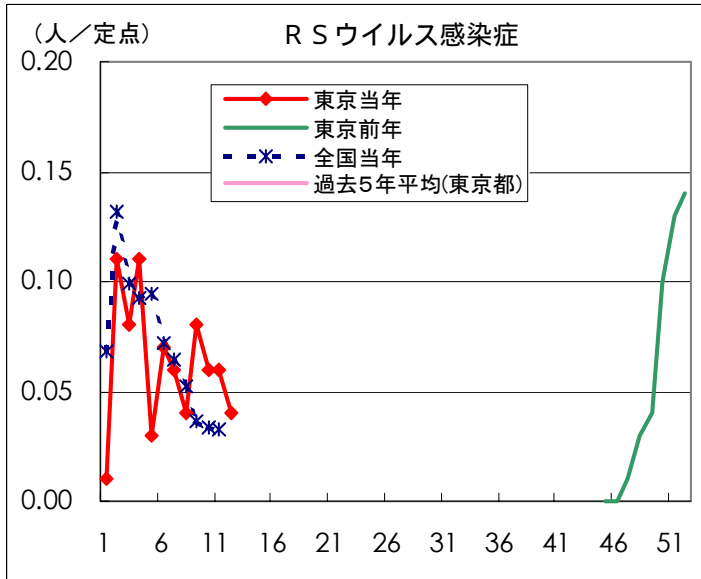
カッコ内の数値は前週分である(2004/3/24集計)。

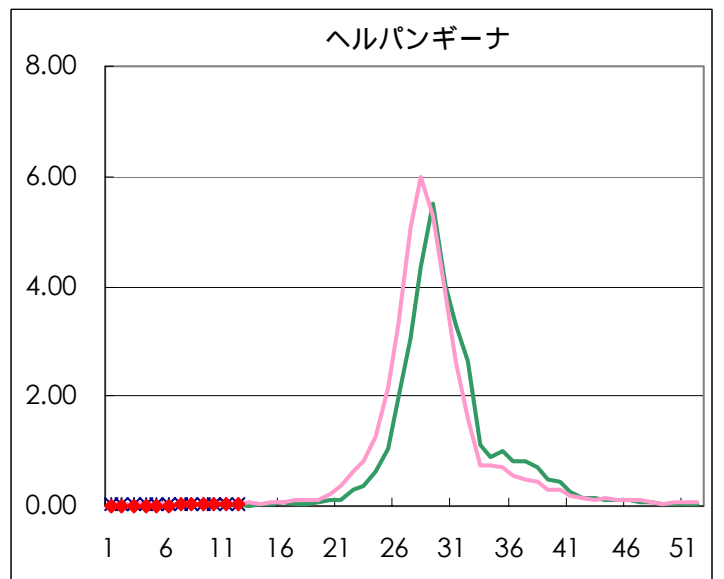
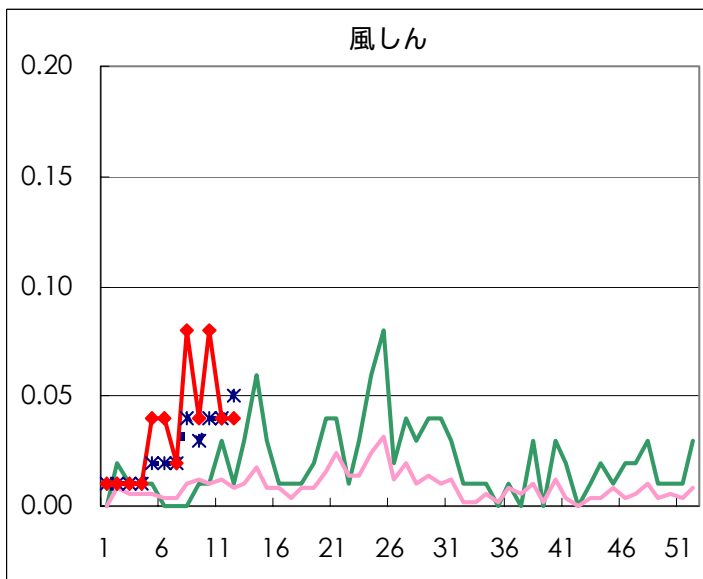
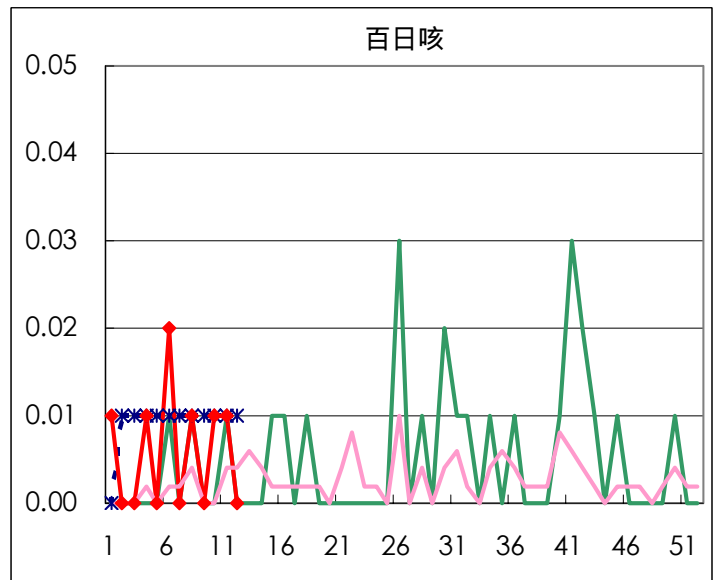
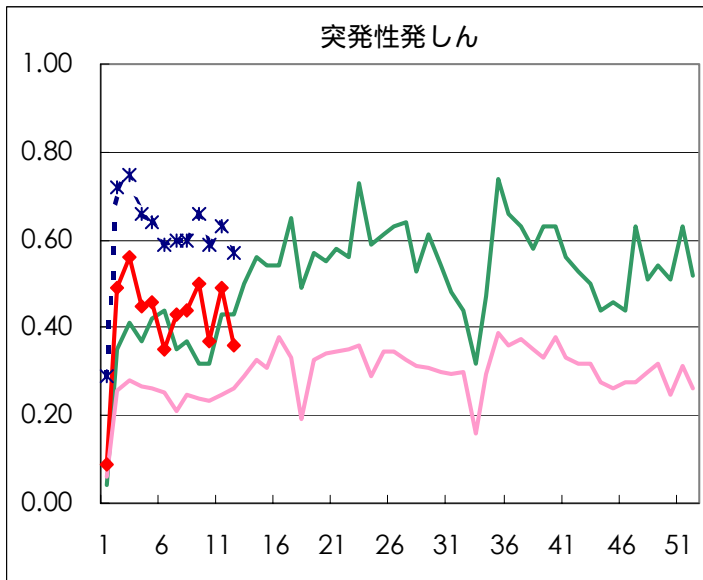
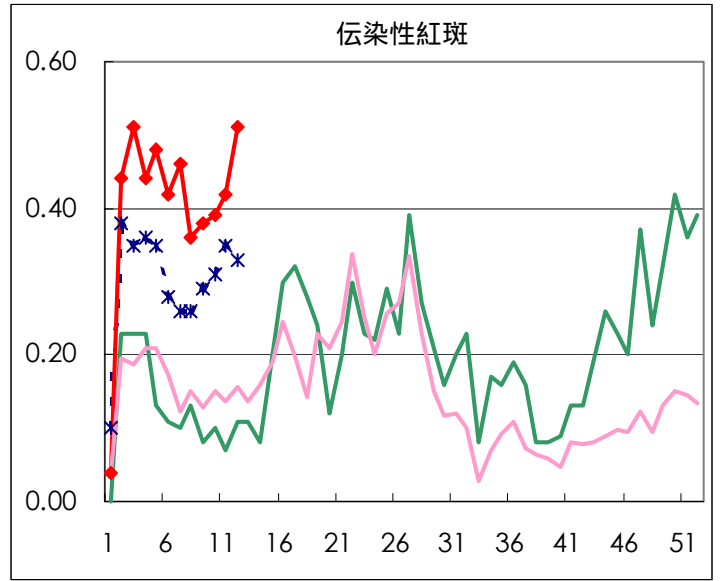
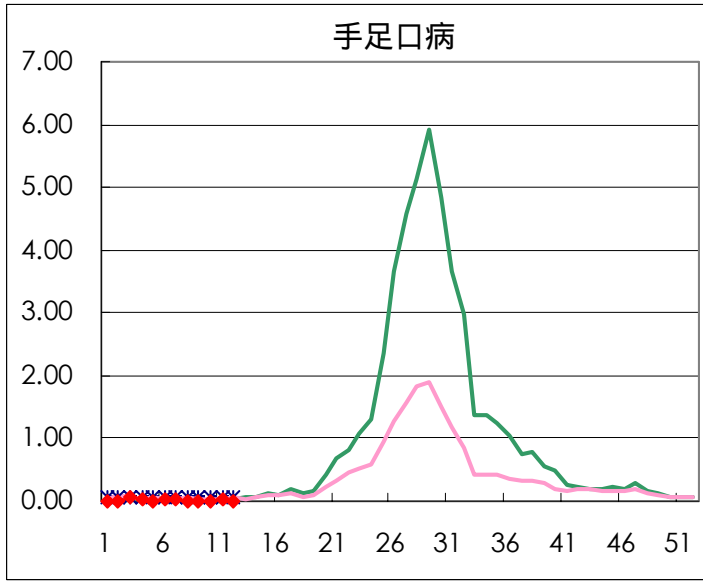
五類定点患者報告数（男女別）

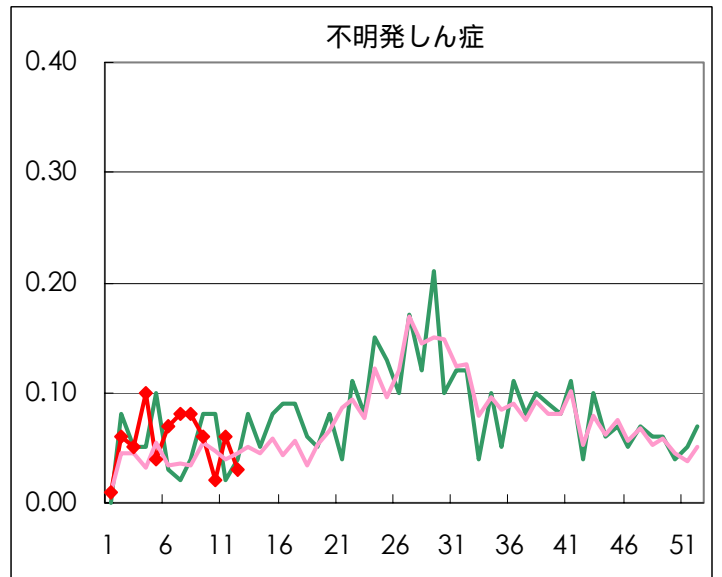
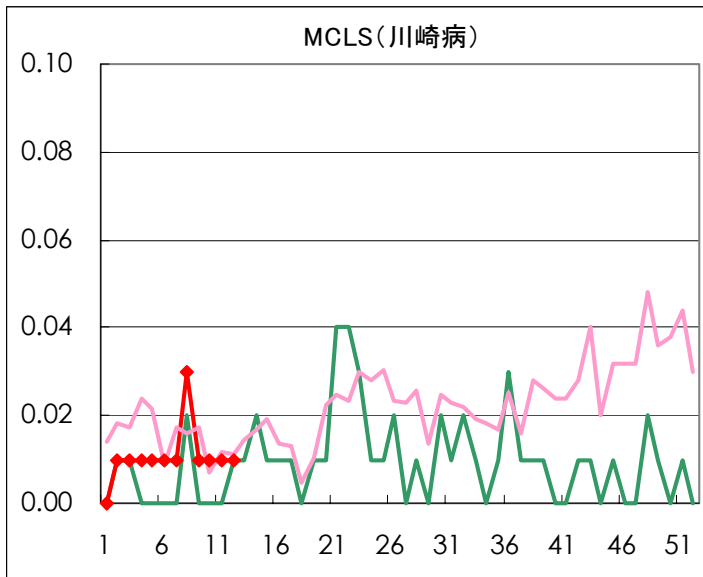
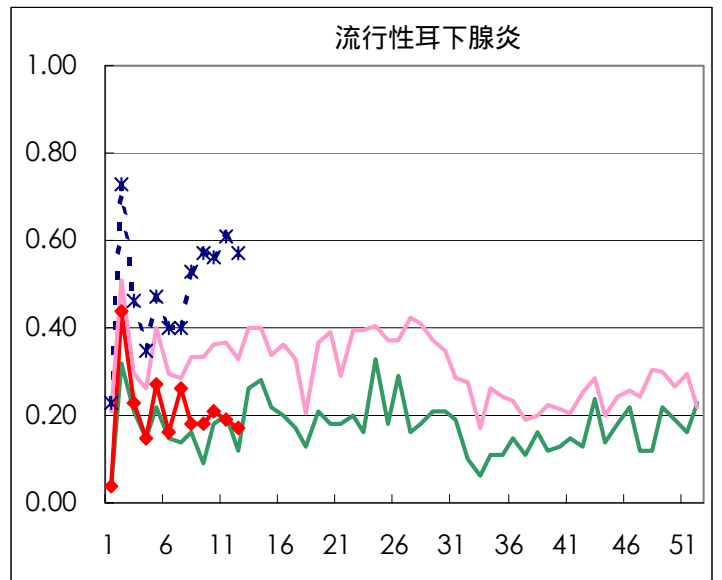
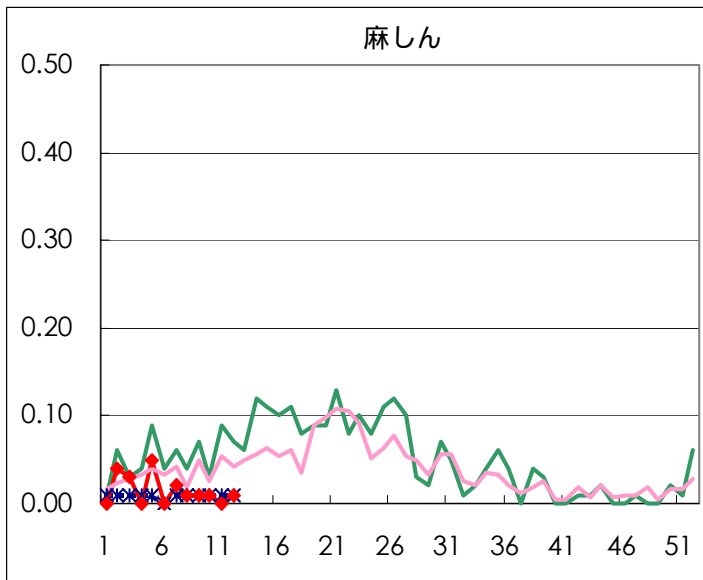
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		9	10	11	12		
RSウイルス感染症	男	7	3	5	3	18	57
	女	4	5	4	2	15	40
インフルエンザ	男	264	130	78	44	516	9,111
	女	288	152	60	47	547	8,980
咽頭結膜熱	男	11	9	9	5	34	106
	女	3	5	7	7	22	71
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	90	101	108	90	389	836
	女	63	89	101	87	340	707
感染性胃腸炎	男	591	623	714	562	2,490	6,309
	女	650	631	617	572	2,470	6,132
水痘	男	91	107	67	84	349	1,068
	女	70	85	69	62	286	879
手足口病	男			2	1	3	15
	女	1	1	2	1	5	19
伝染性紅斑	男	32	23	28	35	118	347
	女	22	33	31	38	124	344
突発性発しん	男	39	30	39	25	133	380
	女	32	22	31	26	111	333
百日咳	男			1		1	3
	女		1			1	5
風しん	男	6	8	2	5	21	39
	女		4	4	1	9	22
ヘルパンギーナ	男	2	2	4	3	11	18
	女	1	1	1	1	4	10
麻しん(成人以外)	男	1	1		1	3	16
	女		1			1	9
流行性耳下腺炎	男	14	20	18	9	61	189
	女	11	10	9	15	45	161
不明発疹症	男	4	2	4	2	12	47
	女	4	1	4	2	11	45
MCLS	男				1	1	9
	女	1	1	2	1	5	8
急性出血性結膜炎	男						2
	女			1		1	1
流行性角結膜炎	男	6	8	10	14	38	104
	女	9	14	11	11	45	96
細菌性髄膜炎	男		1	1		2	2
	女				1	1	2
無菌性髄膜炎	男				1	1	5
	女		1			1	6
マイコプラズマ肺炎	男			2	3	5	13
	女			2	2	4	7
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男	1				1	1
	女						2
成人麻しん	男						1
	女						

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

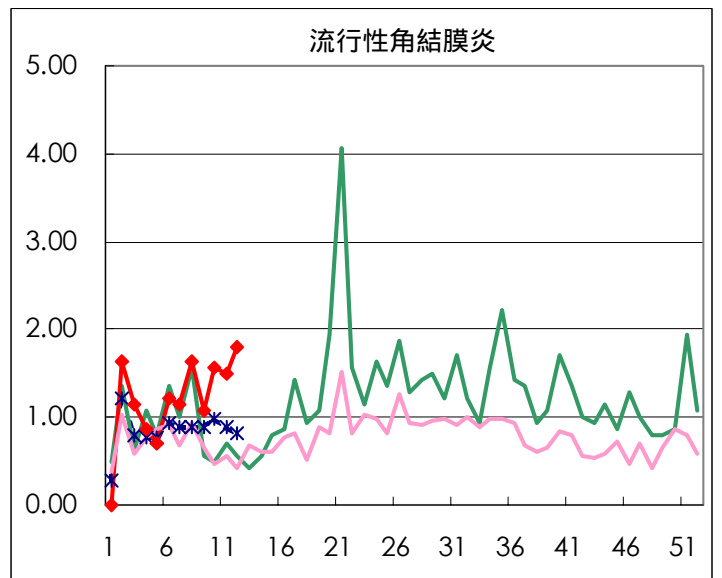
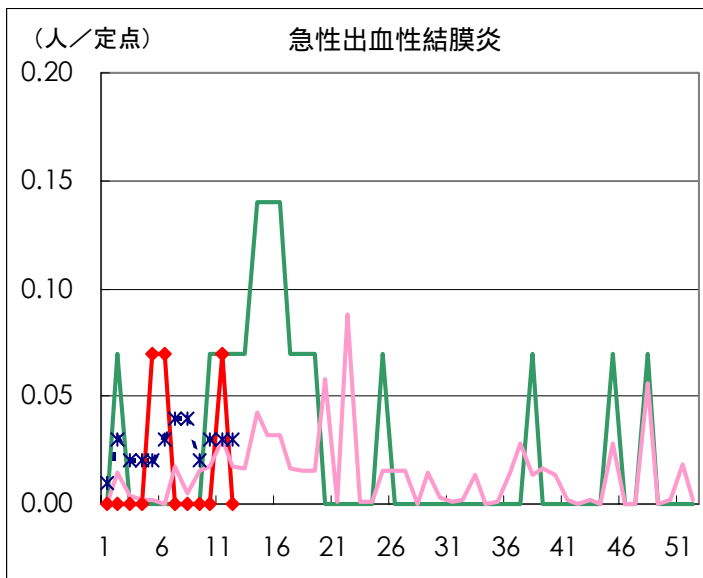
◆ 小児科・インフルエンザ定点



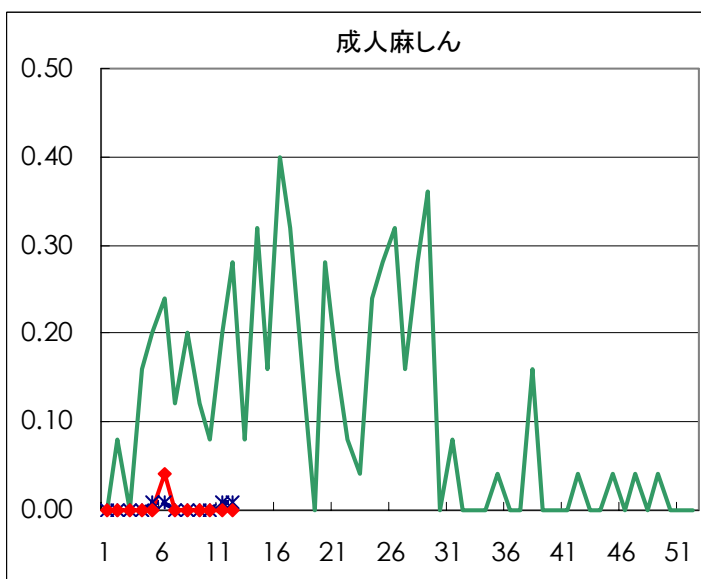
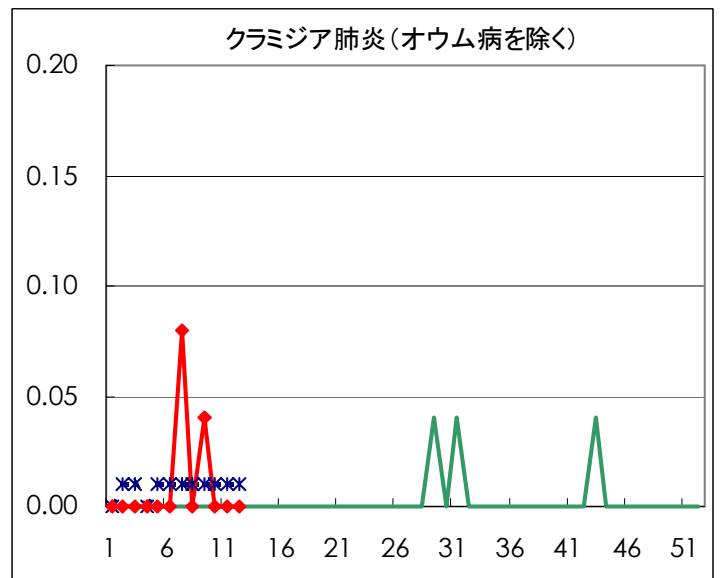
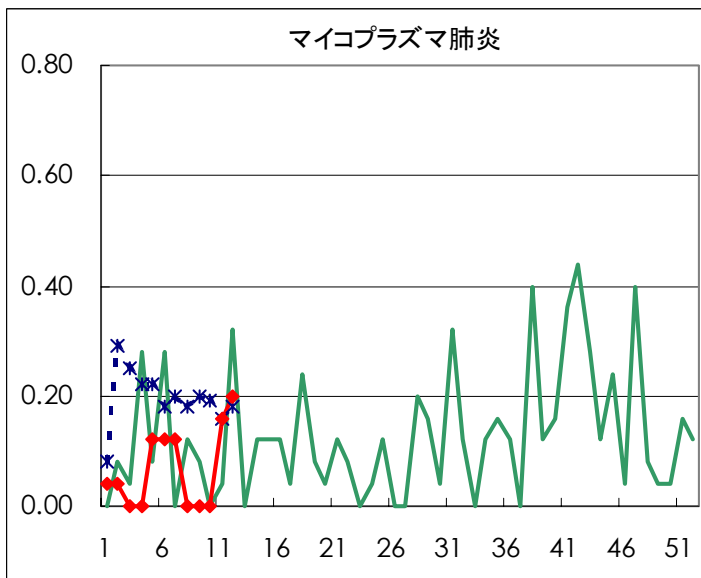
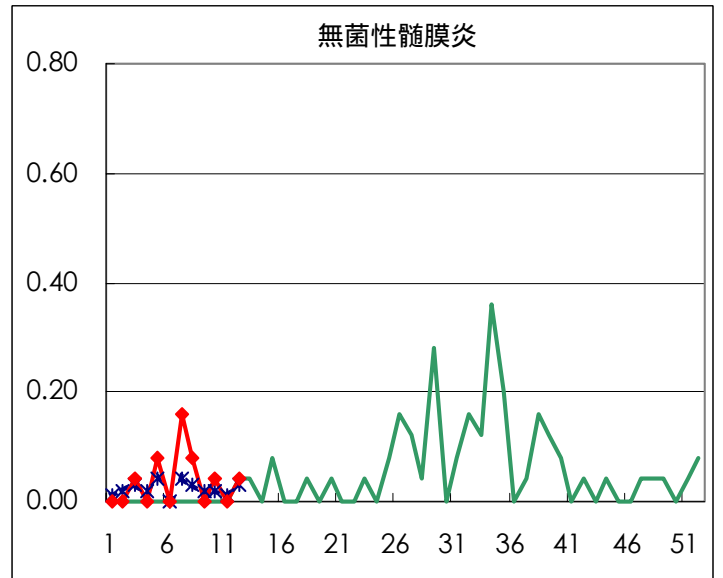
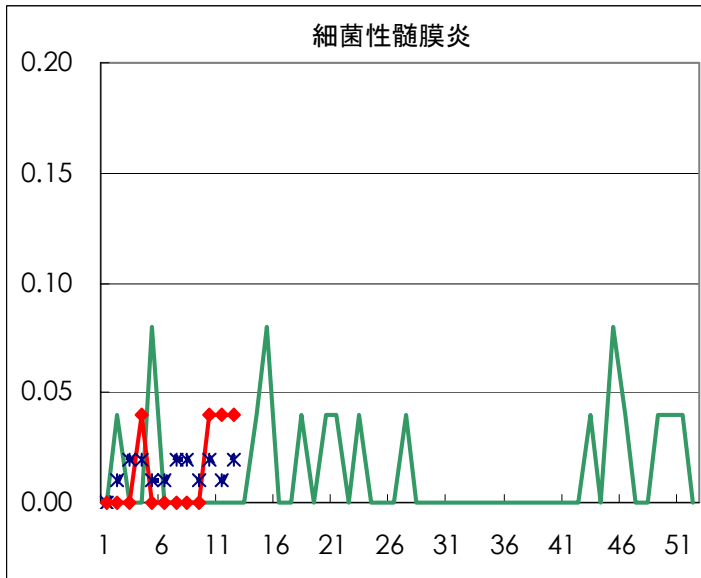




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
成人麻しん		
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年5週～12週)

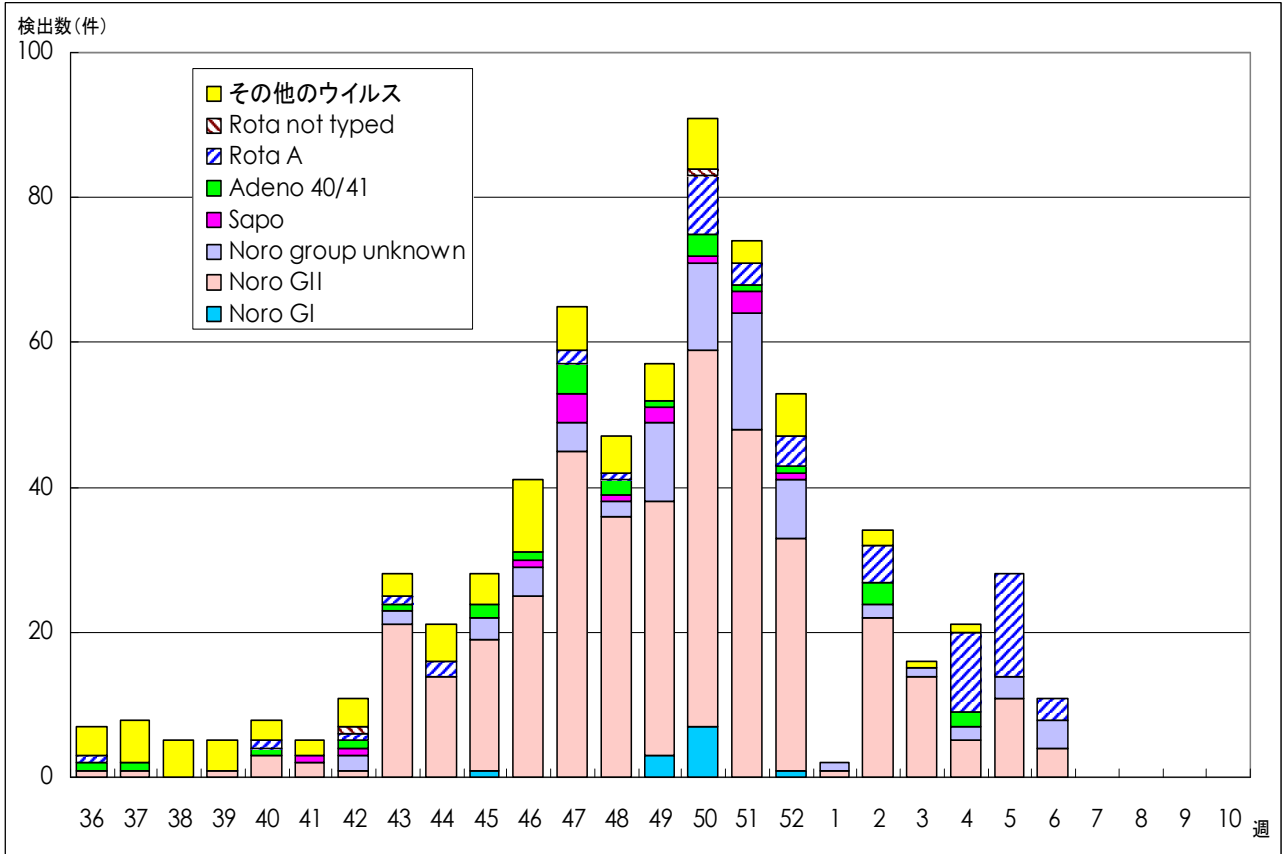
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		5	6	7	8	9	10	11	12		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型	30	31	23	13	9	4			110	
	インフルエンザB型					1		1		2	
	RSV	1	1			2	1	1	1	7	
	アデノ	1	10	3	3	5	4	4	4	34	
	エンテロ	1						2		3	
	ノロ	25	26	13	39	61	16	48	32	260	
	ロタ		1	3	1	3	4	3	3	18	
	単純ヘルペス				1					1	
	水痘・带状疱疹しん	1								1	
	EBV	1	1	3					1	6	
	CMV										
	HHV6/7	1	1	3				4		9	
	ムンプス	1	1							2	
	麻疹										
	パルボB19							1		1	
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1									
		アデノ2			1		1				2
		アデノ3			1			1			2
		エコー13									
		エコー71									
コクサッキーA6											
抗体	デング							1		1	
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター										
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラウゼ 型	1								1	
	MRSAコアグラウゼ 型	1	5	4	6					16	
	MRSAコアグラウゼ 型	1								1	
	MSSAコアグラウゼ 型				1					1	
	溶連菌T-1型										
	溶連菌T-3型	1		2						3	
	溶連菌T-4型				4				1	5	
	溶連菌T-6型				1					1	
	溶連菌T-12型	2		2	2			1		7	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型				1					1	
溶連菌T-28型		1							1		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒		1	1	1	1		1		5	
	クラミジア抗体	17	17	22	21	32	13	36	15	173	
	クラミジア遺伝子	1	1		1					3	
	淋菌遺伝子			1		1			1	3	
	パピローマ			1	4		2	4	1	12	

臨床診断名別病原体検出結果 (2004年5週～12週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を含む) インザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	脳 炎	ヘルパンギーナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	発 疹 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	口 内 炎	水 痘	そ の 他	合 計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	87	23															110
インフルエンザB型	2																2
RSV		1	2			1										3	7
アデノ		2	6			12		1			1	4				8	34
アデノ1																	
アデノ2		1										1					2
アデノ3			1									1					2
エンテロ			1									1				1	3
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1																	
ポリオ2																	
ムンプス													2				2
ノロ						260											260
ロタ						18											18
単純ヘルペス																1	1
水痘・带状疱疹しん															1		1
パルボB19											1						1
カンピロバクター																	
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

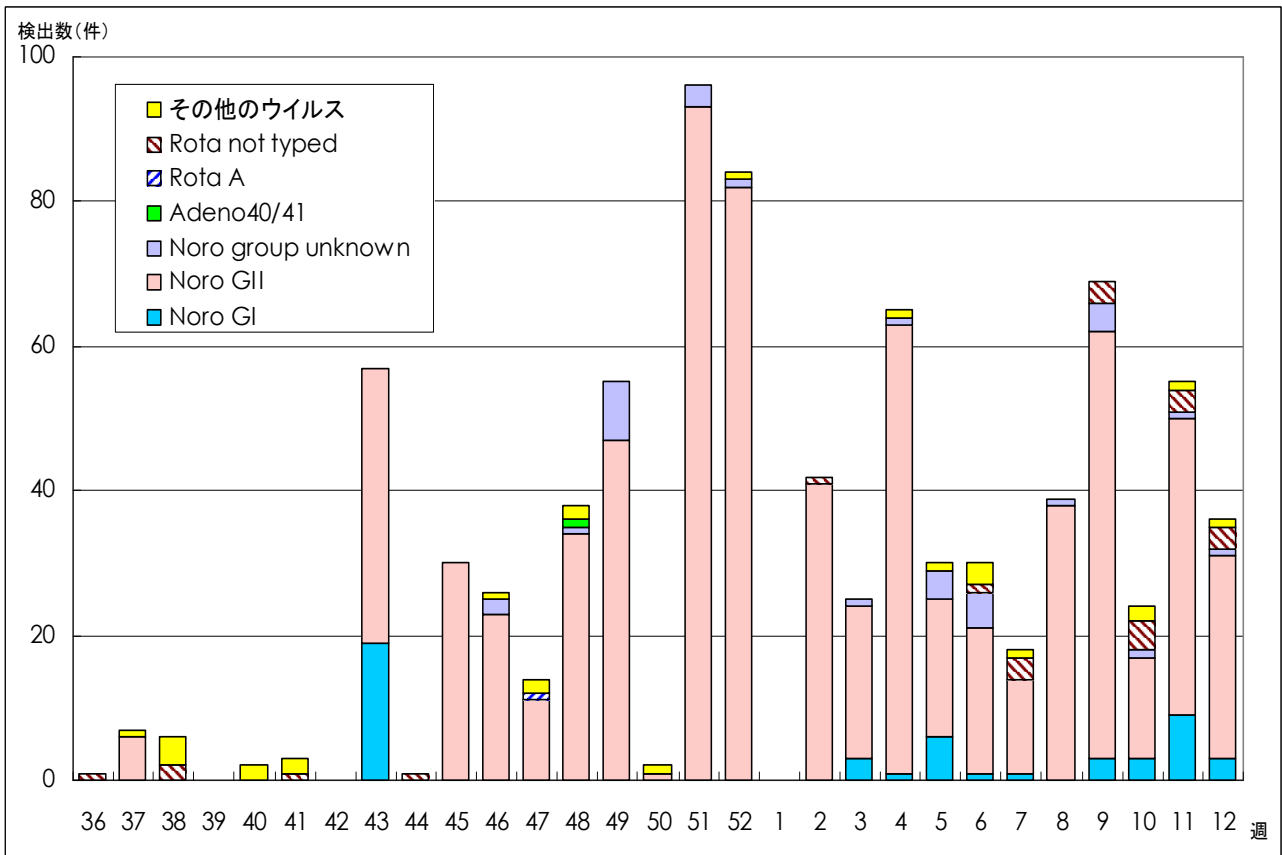
病原体グラフ（感染性胃腸炎）

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（全国）



IASR 病原微生物検出情報 (2004年2月23日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科/多摩支所微生物研究科(集団発生を含む)
(注)Noro group unknown: SRSVで報告されたものを含む

年齢階級別報告数 2004年 12週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月		1			11	1			4
～1歳					54	10	1		27
1歳	1	7	1	6	160	20	1	4	19
2歳	1	5	3	7	127	19		2	
3歳		7	2	13	112	23		13	
4歳		9		22	115	33		10	1
5歳		2	3	31	97	14		11	
6歳		6		30	93	12		9	
7歳		4	1	13	63	3		7	
8歳		6		11	53	3		4	
9歳		5		9	33	3		6	
10～14歳		7	1	14	69	1		5	
15～19歳		2		1	20	2			
20～29歳	3	9	1	20	127	2		2	
30～39歳		8							
40～49歳		8							
50～59歳									
60～69歳		3							
70～79歳		2							
80歳以上									
合計	5	91	12	177	1134	146	2	73	51
先週比	-4	-47	-4	-32	-197	10	-2	14	-19

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCL S
～6ヶ月									1
～1歳			1						
1歳					1			1	1
2歳		2			2			1	
3歳		2	1		4				
4歳					6				
5歳					5				
6歳					4			1	
7歳					1				
8歳					1				
9歳			1						
10～14歳					1		1	1	
15～19歳							4		
20～29歳		2	1	1			2		
30～39歳							8		
40～49歳							5		
50～59歳							3		
60～69歳									
70～79歳							2		
80歳以上									
合計	-	6	4	1	24	-	25	4	2
先週比	-1	0	-1	1	-3	-1	4	-4	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 12週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				1	8	1				
中央区				6	19	1		2		
みなと	3	3	4	13	21	1			2	
新宿区		6			62	5		1	2	
文京			1	1	12			2		
台東				9	39	7	1	5	4	
墨田区		3		8	43	4		3		
江東区		5		9	60	3		2	1	
品川区		1		6	46	10		4	2	
目黒区			1	4	22	2			2	
大田区			2	13	93	9		2	4	
世田谷区		8		5	66	8		1	2	
渋谷区				2	31	1		1	4	
中野区	2	9		2	46	3		4	2	
杉並		4		4	26					
池袋				1	8	1		1		
北区		4	1	14	52	4		5	3	
荒川区		1		9	17	14				
板橋区		1			16					
練馬区		8		6	33	11			2	
足立		2		3	38	6		6		
葛飾		12		20	34	10		6	3	
江戸川		2		9	44	3		7		
多摩川		3		4	28	3	1	3		
秋川		1		2	10	4		8	2	
八王子					8	2		1	2	
南多摩				2	38	3		1	3	
町田		3			32	2		1	3	
多摩立川		2		2	8	1		1	2	
村山大和					8	2		2		
府中小金井		2		3	17	2			1	
狛江調布					33	1			2	
三鷹武蔵野		2		9	31	8		2		
多摩小平		7	3	8	49	7			3	
多摩東村山				2	36	7		2		
島しょ		2								
東京都合計	5	91	12	177	1134	146	2	73	51	-
定点当り報告数	0.04	0.51	0.08	1.25	7.99	1.03	0.01	0.51	0.36	-

保健所別報告数 2004年 12週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田								1	11
中央区	1								29
みなと				1		1			49
新宿区						7			83
文京				1					17
台東	2								67
墨田区									61
江東区						3			83
品川区				1					70
目黒区									31
大田区				1					124
世田谷区				3			2		95
渋谷区						1			40
中野区							1	1	70
杉並									34
池袋						2			13
北区									83
荒川区				1		1			43
板橋区		1							18
練馬区			1	1					62
足立				3					58
葛飾				3			1		89
江戸川		1		4					70
多摩川	2			1					45
秋川									27
八王子						1			14
南多摩		1		1					49
町田						1			42
多摩立川				1					17
村山大和	1			1		2			16
府中小金井									25
狛江調布									36
三鷹武蔵野						3			55
多摩小平		1							78
多摩東村山				1		3			51
島しょ									2
東京都合計	6	4	1	24	-	25	4	2	1757
定点当り報告数	0.04	0.03	0.01	0.17	-	1.79	0.03	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 12週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				0.25	2.00	0.25				
中央区				2.00	6.33	0.33		0.67		
みなと	0.50	0.43	0.67	2.17	3.50	0.17			0.33	
新宿区		0.86			10.33	0.83		0.17	0.33	
文京			0.33	0.33	4.00			0.67		
台東				3.00	13.00	2.33	0.33	1.67	1.33	
墨田区		0.75		2.67	14.33	1.33		1.00		
江東区		1.25		3.00	20.00	1.00		0.67	0.33	
品川区		0.14		1.00	7.67	1.67		0.67	0.33	
目黒区			0.33	1.33	7.33	0.67			0.67	
大田区			0.22	1.44	10.33	1.00		0.22	0.44	
世田谷区		0.89		0.63	8.25	1.00		0.13	0.25	
渋谷区				0.50	7.75	0.25		0.25	1.00	
中野区	0.33	1.29		0.33	7.67	0.50		0.67	0.33	
杉並		0.57		0.67	4.33					
池袋				0.20	1.60	0.20		0.20		
北区		0.80	0.25	3.50	13.00	1.00		1.25	0.75	
荒川区		0.33		4.50	8.50	7.00				
板橋区		0.14			2.67					
練馬区		1.33		1.20	6.60	2.20			0.40	
足立		0.40		0.75	9.50	1.50		1.50		
葛飾		2.40		5.00	8.50	2.50		1.50	0.75	
江戸川		0.40		2.25	11.00	0.75		1.75		
多摩川		0.75		1.33	9.33	1.00	0.33	1.00		
秋川		0.33		1.00	5.00	2.00		4.00	1.00	
八王子					4.00	1.00		0.50	1.00	
南多摩				0.67	12.67	1.00		0.33	1.00	
町田		1.00			16.00	1.00		0.50	1.50	
多摩立川		0.40		0.50	2.00	0.25		0.25	0.50	
村山大和					4.00	1.00		1.00		
府中小金井		0.50		1.00	5.67	0.67			0.33	
狛江調布					11.00	0.33			0.67	
三鷹武蔵野		0.40		2.25	7.75	2.00		0.50		
多摩小平		1.75	1.00	2.67	16.33	2.33			1.00	
多摩東村山				0.67	12.00	2.33		0.67		
島しょ		1.00								
東京都合計	5	91	12	177	1134	146	2	73	51	-
定点当り報告数	0.04	0.51	0.08	1.25	7.99	1.03	0.01	0.51	0.36	-

保健所別報告数(定点当たり) 2004年 12週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCL S
千代田								0.25
中央区	0.33							
みなと				0.17		1.00		
新宿区						3.50		
文京				0.33				
台東	0.67							
墨田区								
江東区						3.00		
品川区				0.17				
目黒区								
大田区				0.11				
世田谷区				0.38			0.25	
渋谷区						1.00		
中野区							0.17	0.17
杉並								
池袋						2.00		
北区								
荒川区				0.50		1.00		
板橋区		0.17						
練馬区			0.20	0.20				
足立				0.75				
葛飾				0.75			0.25	
江戸川		0.25		1.00				
多摩川	0.67			0.33				
秋川								
八王子						1.00		
南多摩		0.33		0.33				
町田						1.00		
多摩立川				0.25				
村山大和	0.50			0.50		2.00		
府中小金井								
狛江調布								
三鷹武蔵野						3.00		
多摩小平		0.33						
多摩東村山				0.33		3.00		
島しょ								

東京都合計	6	4	1	24	-	25	4	2
定点当り報告数	0.04	0.03	0.01	0.17	-	1.79	0.03	0.01

高病原性鳥インフルエンザ

1997年に初めて、香港で発生した高病原性鳥インフルエンザが、昨年秋以来アジア各国で発生し、日本でも、本年1月に初めて、山口県で発生が確認された。基本的にはトリの間で感染する疾患だが、トリとの濃厚な接触によりヒトも感染する可能性がある。今季もすでにベトナム、タイにおいてヒトへの感染が確認されている。臨床的特徴は、全身に感染し致死性の高い高病原性で、ベトナム等の知見では、平均3日の潜伏期間の後発症し、平均10日で死亡している。ただし、抗インフルエンザウイルス剤の有効性が確認されており、早期の診断と治療開始が重要である。なお、院内感染対策としては、ヒトインフルエンザと同程度の標準的感染予防策で充分である。

最も警戒すべきは、ヒトインフルエンザとの同時感染により、両ウイルスの遺伝子が再集合し、ヒトへの強い感染性・病原性を有する新型インフルエンザに変異し、大流行をおこすことである。過去のスペインかぜ、香港かぜ等のパンデミックは、同様な変異により発生したとされている。このため、トリの感染が確認された場合は、感染した可能性のある鳥の殺処分、ヒトへのインフルエンザワクチン接種による同時感染予防等の徹底した対策が求められる。

本疾患は、全医療機関に確定診断時の届け出を義務づけた四類感染症に指定されているが、東京都では、鳥の死亡が発生している養鶏業等からインフルエンザ様症状が出現した際には、確定診断前であっても、医療機関から報告を受け、迅速にウイルス検査を行う体制を確立している。

(文責・前田 秀雄)